

## 肝移植患者の就労状況

研究分担者：徳本 良雄 愛媛大学大学院地域医療学 准教授

**研究要旨：**愛媛大学医学部附属病院では肝疾患患者を対象に、就労継続を主な目的とした社会保険労務士による就労相談を実施している。肝移植の対象である非代償性肝硬変の患者は、腹水、肝性脳症等の合併症だけでなく、全身倦怠感や食思不振、筋痙攣などの自覚症状を有することが多く、就労の継続ができない症例が多く存在する可能性がある。一方で、移植後も免疫抑制剤の内服や術後合併症により就労に制限がある症例もある。移植前に休職・離職している症例では、移植後の就労が低率であった一方で、就労を継続していた症例では産業医等との勤務条件調整後に復職する場合が多く、就労率も高い結果であった。肝移植後の新規就労には障害者総合福祉法に基づくサービスを利用する場合もあった。肝移植前に離職させないための支援とともに、復職時には就労条件に関する助言など産業医等との連携を強化する必要がある。

### A. 研究目的

愛媛大学医学部附属病院では、2014年10月より肝疾患患者を対象として、社会保険労務士による就労相談を週1回実施している。当院では、脳死/生体肝移植の実施施設であり、年間5～10例程度実施している。

しかし、肝移植の対象となる非代償性肝硬変患者は全身倦怠感、食思不振、易疲労感など生活の質が低下していることが多く、就労に制限が生じている。また、肝移植後においても、術後合併症や筋力低下等により、肉体労働などに制限が有る可能性がある。

肝移植希望症例に対して、病気と仕事の両立を図り、就労状況の改善を促すため、当院における肝移植患者の就労状況を調査し、問題点を明らかとすることを目的とした。

### B. 研究方法

当院で2017年1月～2022年12月末までに肝移植を実施したのは68例。移植前20歳未満、移植後早期に転医した症例、移植後1年以内に死亡した症例を除く43例を解析対象とした。診療記録をもと肝移植前後の就労状況を調査した。

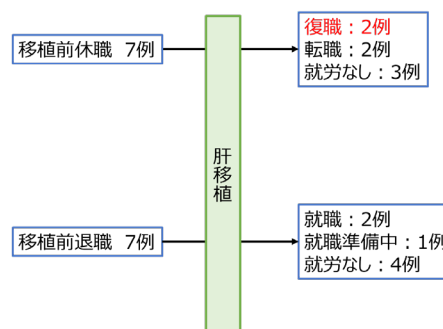
### C. 研究結果

#### 1. 急性感

解析対象43例の内訳は急性肝不全5例、慢性肝不全38例。急性肝不全の5例中4例は発症前から就労しており、3例が移植後に就労していた。

慢性肝不全のうち、移植時点で定年退職、家事等のため元々就労していない症例は8例であった。移植前休職は7例、退職は7例であった。（図1）

図1 肝移植前休職・退職症例の転帰



休職例のうち移植後就労は4例（復職2例、転職2例）であった。退職例で就職または準備中は3例にとどまり、退職した理由は全例が体調不良のため就労継続困難であった。また、転職の1例は障害者総合福祉支援法による研修制度を利用した後に就

労しており、退職後就職の1例は障害福祉サービス事業所に就職していた。

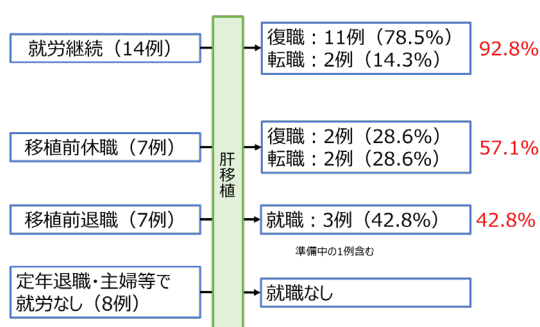
移植前就労継続は14例あり、正規雇用7例のうち5例、非正規雇用1例、自営業6例のうち5例が移植後に就労しており、復職が11例、転職が2例であった。

就労継続群での移植後就労は92.8%、休職群は57.1%、退職群は42.8%と退職群で低い結果であった。

復職例では産業医等の面談により勤務条件を調整していることが多く、身体負荷の大きい部署からデスクワーク中心の部署への業務変更や、通勤等の負担を軽減するために勤務事業所の変更、時短勤務、在宅勤務などの対応がとられていた。

新規就労に当たっては、肝移植後で身体障害者手帳1級となることから、障害者総合福祉法による支援を受けている症例があった。

図2 移植前後の就労状況



#### D. 考察

肝移植実施症例のうち、約半数が移植前に休職や退職を経験していた。

移植前の就労状況は、移植後の就労に大きく影響を与えており、いかに就労を継続していけるように支援していくかが課題である。移植後の復帰時には産業医等のサポートが得られているが、移植前後のいずれも医療側と事業所側が勤務条件等について話し合った症例はなかった。療養・就労両立支援指導料含めた病気と仕事の両立支援に関する更なる周知が必要と考えられた。

現在、当院の肝疾患の就労・両立支援で

は、障害者総合福祉法に基づく就労系福祉サービスの提供については対応できていない。生活支援員や就労支援員などの障害者福祉施設指導専門員が肝炎医療コーディネーターを取得するなど、連携を強化し、研修や就労など段階的な復職に向けた取り組みを行っていく必要がある。

#### E. 結論

肝移植患者が移植後に病気と仕事の両立を図るためには、移植前の就労継続を目的とした支援と、移植後の就労に向けた多職種連携により積極的な支援が求められる。

#### F. 政策提言および実務活動

なし

#### G. 研究発表

##### 1. 発表論文

1) 磯田広史, 榎本大, 高橋宏和, 大野高嗣, 井上泰輔, 池上正, 井出達也, **徳本良雄**, 小川浩司, 瀬戸山博子, 内田義人, 橋本まさみ, 廣田健一, 柿崎暁, 立木佐知子, 井上貴子, 遠藤美月, 島上哲朗, 荒生祥尚, 井上淳, 末次淳, 永田賢治, 是永匡紹. 肝疾患診療連携拠点病院における肝炎医療コーディネーターの現状(第2報). 肝臓. 64 : 510-3 ; 2023.

##### 2. 学会発表

1) **徳本良雄**, 吉田理, 坂本ゆり, 塩見美幸, 今井祐輔, 渡辺崇夫, 廣岡昌史, 阿部雅則, 船水尚武, 坂元克考, 小川晃平, 高田泰次, 日浅陽一. 当院肝移植患者における移植前後の就労状況. 第41回日本肝移植学会学術集会(2023.06)

##### 3. その他

##### 啓発資料

なし

## 啓発活動

- 1) **徳本良雄**，愛媛大学医学部附属病院（看護部，栄養部，薬剤部ほか），愛媛県薬剤師会，甘草の会，薬害肝炎訴訟原告団，B型肝炎訴訟愛媛原告団．日本肝炎デー、世界肝炎デー街頭キャンペーン．愛媛大学医学部附属病院肝疾患診療相談センター、愛媛県主催．
- 2) **徳本良雄**，今井祐輔，渡辺崇夫、利光久美子，柴田沙紀，越智裕紀，日浅陽一．日本肝臓学会主催．令和5年度肝がん撲滅運動市民公開講座（現地15名・Web109名）

## H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得  
なし
2. 実用新案登録  
なし
3. その他  
なし